

かがやき

令和3年 3月23日(火)
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき学級
学級通信 NO. 12

「子どもたちにとっての1年」

桜の花が咲き季節が春に移り、「学校」の1年が年度末を迎えます。今年度のかがやき学級へのご協力ありがとうございました。日々成長を重ねる子どもたちを見ているとこの時期は本当に時間の短さを感じます。「1年という時間が年を重ねるにつれて早く感じる。」大人になってはこんな感覚を持つ方も多くはないでしょうか。フランスの哲学者ポール・ジャネは「人生の中で感じる時間の心理的長さは、年齢の逆数に比例する」という法則を提案しました。例えば、50歳の大人にとっての1年の長さは人生の50分の1ほどであるが、5歳の子どもの10年間は5分の1に相当する。よって50歳の大人にとっての10年間は5歳の子どもの1年間。5歳の子どもの1日が50歳の大人の10日間にあたるというものです。これは主観的に記憶される年月の長さが大人と子どもで異なることを心理学的に説明したものとされます。諸説ありますが、人は経験や体験を深めていくことで時間間隔を形成していく。「なるほどなあ〜！」と思います。そしてこの話から強く感じるのは子どもたちの毎日の生活の中にあるのは実に「濃密で長く、多くの未知なる時間」であるということです。この1年という時間は子どもたちにとっての途方もなく長い見知らぬ場所をゆく旅の一区切りになるのだなあ。そして、ゆっくりと流れている時間の中でゆっくり経験を積んでいるのだなあと思います。

こんなことを考えながら子どもたちのいろいろな部分に目を向けてみると、「成長」がまたちがった形で見えてくるのかもしれない。学校では次の学年の準備が始まっています。3月が終わります。長い旅の一区切りを迎える子どもたちに労いの言葉をかけていこうと思います。各ご家庭でも小さな旅人たちに労いの言葉を考えてみてください。子どもたちにとっての長い濃密な1年が過ぎていきます。

「卒業おめでとう・仲間とかかわるということ」

前回の通信で子どもの成長と自分への気づきについてお伝えしました。毎日の未知なる時間の中で少しずつ経験を積み、自分について知る。まさに成長の階段を上っていく姿です。そして当然ながらこの成長の形やスピードは人それぞれです。この「ちがう」ということを知るということもまた大切なことです。自分と相手とのちがひ。これは仲間とかかわりの中で少しずつ気が付いたり認識したりすることでもあります。「好み」や「感覚」「考えかた」「やり方」。「ちがひ」を知ることで「相手」とどのようにかかわっていくかを意識することができます。そして「ちがひ」が分かるから相手との「共通点」もまた大事なものと意識するようになってきます。同じ趣味や感覚、考え方や好みを「共有」したときの「楽しい」や「わくわく」「安心」。これは「他者とかかわり」から生じるものです。時に反目したり、けんかしたりしたこともあったけど、グループの中で笑い合い、伝えあいながら「かかわる」ことのおもしろさや大切さが少しずつわかってきた今日この頃なのかなあと、6年生をみていて思います。これから中学生として次の成長が始まります。新しい仲間とともに素敵なかかわりを育てていってください。卒業おめでとう。

年度初めの保護者会

日時 4月28日(水) 15:00より

場所 かがやき学級教室

内容 *新年度学級紹介・担当担任紹介 *かがやき学級の今年度の取り組みについて

*ミニミニ勉強会「発達障がい」ってなんだろう? *その他 懇談等

※3月23日現在の予定です。変更の場合随時連絡いたします。

